

「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をととして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。



新人看護師研修を実施して

教育担当看護師長 金牧香代子

職業人としての第一歩を踏み出した新人看護師が、臨床実践能力を確実なものとするのと、看護職員としての社会的責任や基本的態度を習得するための新人看護師研修です。国立病院機構の教育システムが、今年度から看護職員能力開発プログラムVer.2となり、現任教育研修もキャリアラダー教育となります。今回の看護技術研修は、シミュレーターを利用し確実な技術習得を図り、臨床現場で安全に看護援助ができるようにと実施しました。新人看護師達から、「手順だけでなく、その根拠や事故・感染防止についても理解できた、また復習し頑張っていきたい」と前向きな意見が聞かれました。新人看護師の成長を、あわら病院職員全体で支援していけるよう教育活動に取り組んでいきたいと思います。

着任の挨拶

事務部長 磯野 隆

この度、南京都病院から赴任して参りました。福井県での勤務は初めてになります。

着任後、あわら市、福井県嶺北地域の自然の豊かさを感じつつ、当院から程ない距離にあります北潟湖畔に訪れた際の桜がすばらしく、湖面を渡る風がとても気持ちよく感じました。

さて、我々国立病院機構は143の施設が全国にあり、多様な疾患に、全国的なネットワークで取り組んでおります。在宅医療へのニーズが年々増す中、当院の在宅医療は高齢者介護施設の嘱託医の支援に始まり、平成26年10月には在宅療養支援病院として患者さんが住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、患者さんの求めに応じて、訪問看護ステーションと連携しながら24時間体制で患者さんの在宅医療をサポートさせていただく体制が整備されている病院として認定を受けております。また、緊急時には在宅で療養を行っている患者さんが直ちに入院できるなど、患者さんが安心して在宅療養生活を過ごせるよう、これからも支援して参ります。



り、平成26年10月には在宅療養支援病院として患者さんが住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、患者さんの求めに応じて、訪問看護ステーション

ンと連携しながら24時間体制で患者さんの在宅医療をサポートさせていただく体制が整備されている病院として認定を受けております。また、緊急時には在宅で療養を行っている患者さんが直ちに入院できるなど、患者さんが安心して在宅療養生活を過ごせるよう、これからも支援して参ります。

当院では、職場毎において良質な医療を提供するため、専門性を発揮させた目標を掲げております。それぞれが目標に確実に向かうことにより、安定した病院経営に繋がり、地域に継続して安定した質の高い医療を提供していくことになると考えております。事務部門としても地域に求められる医療の提供を実践し、病院経営に携わっていくことと考えております。

「多くの人の笑顔のために」の当院の理念のもと、地域の皆様の一員として、当院での職務責任を全うしたいと考えております。

神経難病レスパイト入院

内科医長 桐場 千代

当院では平成21年から神経難病レスパイト入院を開始し、当初は3名より開始した神経難病レスパイト入院も、現在では20名以上の方々に利用をいただいております。患者さんの疾患は進行性核上性麻痺、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症、筋ジストロフィー等で、利用頻度は2-3週に1回から年に数回、利用期間は1泊2日から2週間、事情によっては長期の利用までと様々です。入院中は通常の診療はもちろん、連携歯科医院の往診も可能です。また、福井大学病院神経内科から外来医師の派遣もあり、病状の進行により遠方の基幹病院神経内科に通院が困難となった患者さんの中には、レスパイト入院中の当院神経内科外来にご紹介をいただいた方もいます。病状が進行しても患者さんが充実した生活が送れるように、少しでもご家族の身体的・精神的介護負担が軽減し在宅療養生活を長期に継続できるように、医師、看護

師、薬剤師、リハビリテーション(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)、管理栄養士、退院支援看護師等が参加する多職種カンファレンスで問題点を共有し解決を目指しています。コミュニケーションツールの体験や導入、ナースコール・テレビ等のスイッチの調整、また、意思決定の支援も力を入れています。

患者さんご自身はレスパイト入院には不安が大きいとお聞きしています。当院では1泊2日からの体験レスパイト入院も行っており、ご希望があればご家族の付き添いも可能です。レスパイト入院利用時は、必要に応じ当院の福祉車両での送迎に加え、人工呼吸器使用の際は看護師の同乗も行っております。ぜひ、当院の神経難病レスパイト入院を一度体験していただきたいと思います。



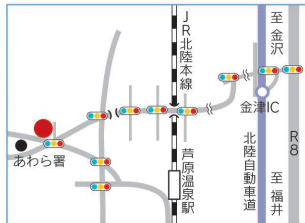


地域医療連携施設のご紹介



あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

介護付有料老人ホーム ケアハイツ芦原



株式会社ケアハイツ [ケアハイツ芦原]

〒910-4113 あわら市横垣18-11
TEL (0776) 77-3600 FAX (0776) 77-2875
E-mail : info@careheights.jp

当施設は、あわら市の旧金津町と旧芦原町の境界に位置します横垣地区にあります。開設は、平成元年4月に「有料老人ホーム」の認可を頂き、開設より28年になります。又、「特定施設入居者生活介護」の認定は、介護保険法が施行された平成12年4月に認可され現在に至ります。

当施設は、自立の方と予防介護の方は1号館・2号館に入居して頂き、要介護1以上の方は3号館に入居して頂いております。従いまして自立の方から要介護5の方まで安心して入居できます施設です。

又、敷地内に「横垣クリニック」があり、内科及びリハビリ科があり、地域医療連携の病院様との連携をさせて頂いておりますので、その点でも安心できます施設です。

地域の方々との交流を深めるため、地域のボランティア団体の皆様をお招きし、合唱や楽器演奏を開催しております。

入居の方々同士の「おしゃべり」・「折り紙」・「カラオケ」等を楽しむ「談話室」・「ビリヤード室」・「卓球室」そして「コーヒータム」等全て無料で提供させて頂いております。

これからも連携頂いております病院のご支援を賜り、地域の皆様方に「ケアハイツ芦原」を知って頂きますようお願い致します。

「アイリス」3年目の訪問看護への想い

訪問看護ステーション アイリス 管理者 堀野 千津子

訪問看護ステーション「アイリス」は、7月1日に開設後3度目の夏を迎えようとしています。車体の鮮やかなアイリスの花をシンボルとする訪問車両「アイリскар」は、あわら市や坂井市にお住まいの方はすでに目にされている事と思います。訪問看護ステーション開設により、医療保険に加え介護保険での訪問看護が可能となり、多くの高齢者の方に利用して頂いてきました。飲み忘れてしまうお薬の事や、ご家族が不在となる日中の心細さや病気の心配など、訪問看護師が何う事で日常生活の不安が無くなったとの声を頂いております。また、人工呼吸器を装着されている神経難病の方や、重症心身障がい児(者)の方の訪問看護利用も増え、より良い状態での在宅生活が続くためのサポートと同時

に、介護されているご家族への精神的支援をさせて頂いております。

「アイリス」は、神経難病、重症心身障がい児(者)医療、長寿医療をはじめとする専門医療において豊富な看護経験を有するスタッフが訪問看護を行っています。そして、より長く住み慣れた地域での安心した生活、そしてご自身が望まれる最期の迎え方に寄り添える看護を大切にしています。今後、更に、より質の高い専門性のある看護の提供に努め、多くの方に「アイリス」をご利用して頂きたいと考えています。



外 来 担 当 医 表

(平成29年6月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総 合	内 科	津谷 寛	鈴木 友輔	大槻 希美	見附 保彦	宮永 大
	小 児 科	大坂 陽子 *	川満 徹 *	大坂 陽子 *	湯浅 光織 *	川満 徹 *
専 門	リ ウ マ チ			津谷 寛	津谷 寛	
	血 液 ・ 腫 瘍			浦崎 芳正 *	大槻 希美 (第2・4)	
	痛 風				津谷 寛 *	
	生 活 習 慣 病			鈴木 友輔 (第1・3)		
	老 年			桐場 千代 (第2・4・5)		栗田 敦
	神 経			林 浩嗣 (第1・3・5)		
	循 環 器	見附 保彦	見附 保彦			
	外 科	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢	齊藤 貢
	整 形 外 科	奥 規博				
	眼 科				吉岡 達也 *	
	皮 膚 科		若原 真美			若原 真美
	地 域 ケ ア		桐場 千代			
	禁 煙 外 来	見附 保彦	見附 保彦			

● 受付時間8:30～11:30 ● 黄色枠は予約制 ● *印は午後診察 ● 休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

※禁煙外来の診察は、月曜日(8:30～11:30)・火曜日(10:00～12:30)です。

栄養管理室便り

栄養管理室 主任栄養士 内川 厳志

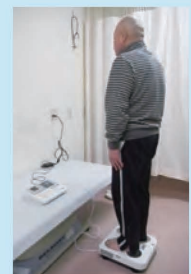
あわら病院では、平成29年2月より体重以外にも体脂肪率・筋肉量・体水分量・基礎代謝・内臓脂肪レベル等が測定できる「体組成計」を新たに購入しました。

外来の栄養食事相談では、今まで体重のみで減量・増量を評価していましたが、体組成計を用いる事で、体重の変化が「筋肉」「水分」「脂肪」のどれによるものなのか評価しやすくなりました。他にも高齢者の筋力低下の予防目的にも使用するなど、ダイエット以外にも用途は様々あります。体重や体脂肪、筋肉量などが気になる方は、是非あわら病院外来の栄養食事相談を受けてはいかがでしょうか。

(※注意：微弱な電流を体内に流すので、ペースメーカー等の電気機器を装着している方は体組成計は使用できません)



《 体組成計 & 測定風景 》



独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249
 〈地域医療連携室〉 TEL.0776-79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261
 URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科
 老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教 育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北潟花菖蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、
 またはホームページ(交通案内)をご覧ください。